

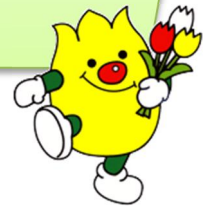
湧別町立芭露学園

家庭学習の手引き

<前期課程>

前期課程のうちに机に向かう習慣を身に付けることが、学力の形成に大きくかかわっていきます。学校で学習した内容をしっかりと身に付けるとともに、自ら学ぶ習慣を身に付けるために、「家庭学習の手引き」を作成しました。

この手引きの活用を通して、児童が学習する楽しさを味わい、自ら学ぶ意欲を高めると心から願っております。まずは、習慣化を図りながら家庭でも楽しく学習できるよう、ご家庭での取組をお願いいたします。



家庭学習の意義

- ①**学習内容の定着**…学校で学習したことを、家庭で復習することにより、定着を図ることができます。特に、音読・漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。
- ②**学ぶ習慣を付ける**…毎日家庭学習を続けることにより、自ら学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて「やらされている学習」が「自分から進んでやる学習」に変わっていきます。少しずつでも継続することで、大きな力につながります。
- ③**脳の活性化**…手足の筋肉と同じように、脳も鍛えれば鍛えるほど発達すると言われています。たくさん読んだり書いたりする学習を通して、脳の活性化が図られます。
- ④**家族とのふれあい**…「音読を聞いてあげる」「〇つけをしてあげる」「わからない時には、一緒に考えたり調べたりしてあげる」など、家庭学習をしている子どもに親がかかわることによりコミュニケーションがはかれます。家族のふれあいが増えることは、子どもの精神安定にもつながります。

家庭学習のポイント

①**決まった時刻にする**…家庭では、とにかく毎日続けることが大切です。習い事やお出かけなどで予定が組みにくい日もあると思います。その場合は、先に済ませる、テレビやゲームの時間を短くするなどして時間を生み出すことも必要です。お子さんが継続しやすいよう、ご家庭で充分話し合ってください。

②**整頓された場所で、良い姿勢で学習する**…整頓された机に向かって、良い姿勢で学習するようにしましょう。マンガやゲームなど、気が散るようなものが近くにあると集中して学習できません。親の目が行きとどき、落ち着いて学習できる環境づくりも必要です。ご家庭でも、テレビを消すなど静かに学習できる環境を整えてください。

③**子どもの頑張りを、認め励ます**…家庭で子どもの頑張りを認め励ますことにより、進んで学習しようとする意欲が高まります。つつい口うるさくなりがちですが、「ほめて伸ばす」ことに重点を置きましょう。

④**学力アップは規則正しい生活から**…「早寝・早起き・朝ごはん」は、生活リズムの大原則です。生活リズムを整えることが学力向上につながることは、調査でも明らかになってきています。夜遅くまで勉強して睡眠時間が少ない子よりも、7時間以上睡眠時間を確保している子のほうが成績がよいというデータもあるそうです。



家庭学習の方法

- ①学校からのプリントを出す、机の周りを整えるなど、基本的な環境を整えましょう。
- ②宿題があれば、まずはそれを済ませましょう。
- ③はじめに「基本学習」から取り組みましょう。できる人は「発展学習」に挑戦しよう。
- ④家庭学習が終わったら、次の日の準備をしましょう。えん筆をけずり、時間割をそろえ、学習用具を確認し、忘れ物がないようにしましょう。
- ⑤毎日の学習の時間は、学年×10分以上を目安に取り組みましょう。